注１　２バイト符号区番号（点番号）は、別表第二十号の別記第１に示すとおりとする。
２　モザイクは、別表第二十号の別記第５に示すとおりとする。
３　ＤＪＣＳ及びＤＲＣＳは、別表第二十号に示すとおりとする。
４　特殊符号は、別表第二十号に示すとおりとする。
５　「○」印は、使用できることを示す。
６　表中の⑴から⑹は、次のとおりとする。
⑴　１バイト符号の集合においては記号を追加している。
⑵　２区94点を除く。
⑶　標準のみとする。
⑷　４／０から５／14を除くモザイク集合Ａのみとする。
⑸　特殊２のみとする。
⑹　超小形についても対応する。
７　次の文字等を除き、縦書において横書で使用する文字の字形を使用することができる。
１区　２、３、17、18、28～30、33～37、42～59、65点
４区　１、３、５、７、９、35、67、69、71、78点
５区　１、３、５、７、９、35、67、69、71、78、85、86点
なお、片仮名集合及び平仮名集合では次の符号に対応する。
片仮名　２／１、２／３、２／５、２／７、２／９、４／３、６／３、６／５、６／７、６／14、７／５、７／６、７／９～７／13
平仮名　２／１、２／３、２／５、２／７、２／９、４／３、６／３、６／５、６／７、６／14、７／９～７／13

別表第十六号　表示の機能、文字の大きさ及び書き込みモードの表示の優先順位

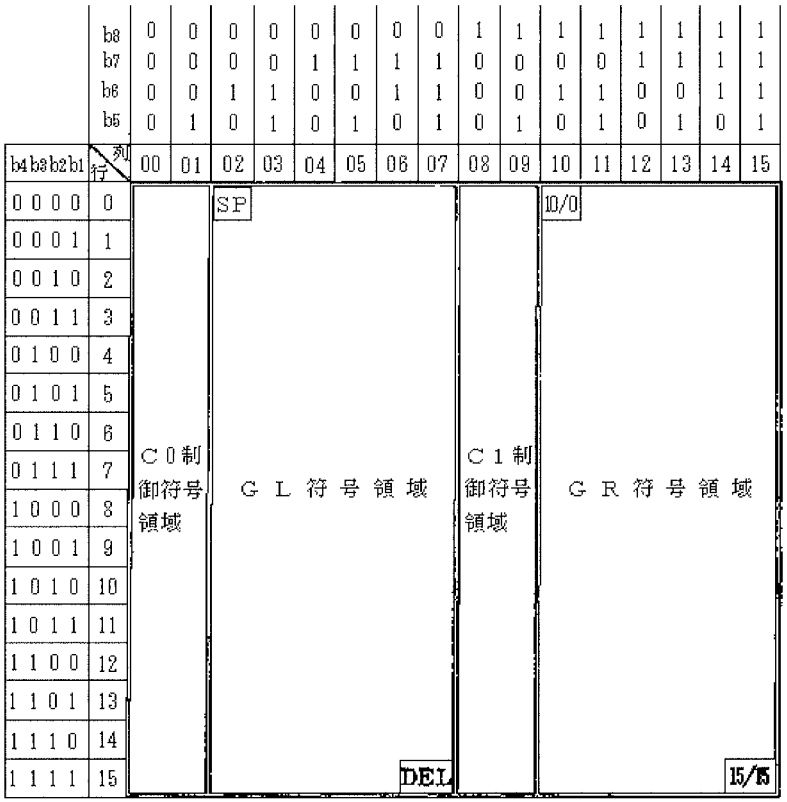
順位	区分
1	文字の大きさ
2	アンダーライン
3	囲み
4	パターン極性反転
5	パレット指定 色指定（縮小着色を含む） コンシール（縮小着色を含む） フラッシング（縮小着色を含む） 書き込みモード

注　同一順位における順序は任意とする。

別表第十七号　付加音の表出の機能

項目	表出の機能
1　音色	⑴　メロディ音は、別表第二十二号に示すとおり基本機能においては９種類、追加機能においては32種類とし、このうち、基本機能においては最大６種類、追加機能においては最大16種類の音色を選択して同時に表出できるものとする。 ⑵　リズム音は、別表第二十二号に示すとおり基本機能においては最大５種類、追加機能においては16種類とし、このうち、基本機能においては最大5種類、追加機能においては最大８種類の音色を選択して同時に表出できるものとする。
2　音の高さ	音の高さは、12音平均律音階のＡ４の基本周波数を440ヘルツとし、Ａ０からＣ８までの88音とする。
3　音の強さ	⑴　音の強さは、定常的な強さについて基本機能においては８段階、追加機能においては16段階とする。 ⑵　音の強さの指定は、各段階の音の強さを直接指定するものとする。ただし、追加機能を有する場合においては音強修飾（各音ごとに定常的に指定される音の強さに対する相対的な音の強さを指定することをいう。）も可能なものとする。
4　音の長さ	音の長さは、単位時間を基本機能においては20ミリ秒から255ミリ秒までの範囲、追加機能においては１ミリ秒から255ミリ秒までの範囲で定め、その整数倍の時間とする。

別表第十八号　八単位符号の構成



注　ＳＰ、ＤＥＬ、10／０及び15／15は、特殊符号領域とする。ただし、付加音の符号化及びジオメトリック図形の符号化においてはＳＰ及びＤＥＬをＧＬ符号領域に、10／０及び15／15をＧＲ符号領域に加える。